

科目名	臨床実習1			学年	2年	期生
担当者				期別	前期	
単位数	1単位			講義・実習	実習	
時間数・授業回数	45時間 8回			専任・兼任	専任	
実務経験	臨床経験を持つ教員・指導者が実際に境遇する臨床現場での対応方法の実習を行う。					
一般目標 (GIO)						
過去の学習より臨床現場で出くわすそれぞれのシーンに対応した能力を修得している為 臨床実習1においては、1単位を超えない範囲で実際の現場で対応能力の再確認と応用力を身に付ける。						
回数	月	日	時間数	項目	行動目標 (SBOs)	
1	9	2	3	実習生について	附属接骨院で清潔・端正(身だしなみ)を身に付ける。	
2	9	3	6	態度	指導者・利用者との信頼関係の構築を身に付ける。	
3	9	4	6	付帯業務	清潔保持・衛生管理を進んで行うことができる。	
4	9	5	6	リスクマネジメント	医療事故・過誤に対して危機管理ができる。	
5	9	6	6	社会保障・地域包括ケア	社会保障・地域包括ケアシステムについて説明できる。	
6	9	9	6	介助	利用者を愛護的に扱い誘導できる。	
7	9	10	6	施術録	指導者が記載した記録を理解し説明できる。	
8	9	11	6	指導管理	施設利用上の注意事項を利用者に説明できる。	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価基準			教科書			参考書
実習者評価	100%					オリエンテーション時の資料 実習前学習の資料
	%					
	%					
	%					

科目名	臨床実習2	学年	3年 期生
担当者		期別	前期
単位数	1単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	45時間 7回	専任・兼任	専任
実務経験	臨床経験を持つ教員・指導者が実際に境遇する臨床現場での対応方法の実習を行う。		

一般目標 (GIO)

過去の学習より臨床現場で出くわすそれぞれのシーンに対応した能力を修得している為
臨床実習2においては、学校附属接骨院で模擬患者を設け施術者としての臨床能力を身に付ける。

回数	月	日	時間数	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	2	6	態度	清潔・端正(身だしなみ)と適切な挨拶を身に付ける。
2	9	3	6	付帯業務	受付で、予診表の記入方法を説明できる。
3	9	4	6	診察①	問診を系統立てて行う事ができる。
4	9	5	6	社会保障	保険請求について説明できる。
5	9	6	6	鑑別技術	業務範囲の説明、適応の判断ができる。
6	9	9	6	物理療法	症状に応じた物理療法を選択することができる。
7	9	10	6	施術の介助・施術録	利用者を誘導できる。施術録の説明ができる。
8	9	11	6	固定	固定能力が固定の目的を果たすことができる。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	参考書
実習者評価	100%		オリエンテーション時の資料 実習前学習の資料
	%		
	%		
	%		

科目名	臨床実習3	学年	3年 期生
担当者		期別	後期
単位数	1単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	45時間 7回	専任・兼任	専任
実務経験	臨床経験を持つ教員・指導者が実際に境遇する臨床現場での対応方法の実習を行う。		

一般目標 (GIO)

過去の学習より臨床現場で出くわすそれぞれのシーンに対応した能力を修得している為
臨床実習3においては、外部整骨院・接骨院で施術者としての臨床能力を身に付ける。

回数	月	日	時間数	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	12	7	態度・付帯業務①	患者に不快を与えず衛生管理することができる。
2	9	13	7	態度・付帯業務②	施設で指定された消毒方法を説明できる。
3	9	30	7	態度・付帯業務③	コロナ感染対策をとった振る舞いができる。
4	10	7	7	物理療法	施設にある物療機器の分類の説明ができる。
5	10	21	7	診察・物理療法①	施設にある物療機器の効果の説明ができる。
6	10	28	7	診察・物理療法②	症状の聞き取りから症状を把握し物理療法選択ができる。
7	11	11	7	施術録の記載①	各項目を説明できる。
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	参考書
実習者評価	100%		オリエンテーション時の資料 実習前学習の資料
	%		
	%		
	%		

科目名	臨床実習4	学年	3 年 期生
担当者		期別	後期
単位数	1 単位	講義・実習	実習
時間数・授業回数	45時間 7回	専任・兼任	専任
実務経験	臨床経験を持つ教員・指導者が実際に境遇する臨床現場での対応方法の実習を行う。		

一般目標 (GIO)

過去の学習より臨床現場で出くわすそれぞれのシーンに対応した能力を修得している為
臨床実習4においては、外部整骨院・接骨院で施術者としての臨床能力を身に付ける。

回数	月	日	時間数	項目	行動目標 (SBOs)
1	11	18	7	施術録の記載②	患者を想定し施術録が作成できる。
2	11	25	7	施術の介助①	患者誘導、徒手検査などの補助ができる。
3	12	2	7	施術の介助②	外傷を想定し固定準備ができる。
4	12	9	7	レセプトについて	各項目を説明し作成できる。
5	12	16	7	施術所独自の治療法	治療法の説明を聞き理解することができる。。
6	12	23	7	固定①	固定能力が固定の目的を果たすことができる。
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	参考書
実習者評価	100%		オリエンテーション時の資料
	%		実習前学習の資料
	%		
	%		